

【飯島町】 1人1台端末の利活用に係る計画

2024年11月

項目	内容
①1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿	「個別最適な学び」「協同的な学び」を実現する為にデジタルドリルや共同学習アプリの活用を通じて、1人1人の児童生徒の自己の考えを広げ深めることができるようにし、これからの情報化社会を生き抜くことができる生徒児童を育成する。
②GIGA第1期の総括	生徒用学習端末の調達により情報活用推進体制を構築した。デジタルドリルや共同学習アプリを導入し、「個別最適な学び」「共同的な学び」を実践することができた。ただ全校生徒がネットワークを利用した際の通信負荷や不具合等が一部の学校で見られ、端末トラブルや破損時の代替機貸出も予備機が少なく課題となっている。また、指導者によりデジタル教材の理解度、活用度に差が生じてしまっている。
③1人1台端末の利活用方策	生徒用学習端末の調達やデジタルドリルと共同学習アプリケーションにより情報活用の推進体制を構築した。今後もICT教育のより一層の推進を図るため更新作業を進めていく予定である。現在ある課題として、予備機が少ない事が挙げられるため、予備機の整備率を4%と定め端末の調達を行っていく。また、指導者により情報機器の理解度、活用度に差が生じているため、授業や公務におけるICT活用に関する校内研修を実施し、県や外部機関が実施する研修会にも積極的な参加を促す。また、生徒が1人1台端末をより有効、安全に活用することができるよう、導入している学習アプリのフィードバックを定期的に受け、より最適な学習アプリの研究を行う。また、複線型の学びや自由進度学習といった先進的な取り組みを取り入れることができる土壌を整え、セキュリティポリシーの周知徹底を行う。